



夢相続カウンセリング チェックシート

このチェックシートは、
相続コーディネーターとの無料面談時に、
課題を整理するためのものです。

ぜひ『円満でハッピーな相続』実現のために
ご活用ください。

ご記入する中で見えてきた課題は、
無料面談や、無料電話相談などで
相続コーディネーターに相談されることを
おすすめします。

株式会社 夢相続

〒103-0028
東京都中央区八重洲1-8-17
新槇町ビル5階

ホームページ: <http://www.yume-souzoku.co.jp/>

無料面談のご予約、無料電話相談は
TEL: 03-5255-0077



☆あなたの現状はどうか、相続の課題を確認します。☆何から始めるか、知ることがスタートです。

経済面

①【財産に関すること】

- 1【不動産が多い】自宅の他にも不動産がある
- 2【借地権】借地上に建物を所有している
- 3【底地】借地人が居住している土地がある
- 4【賃貸経営】賃貸物件を所有している
- 5【預金】他の財産に比べて預金が少ない
- 6【名義預金、保険】自分が契約した家族名義の預金や保険がある
- 7【借入金】返済の見込みのない負債がある
- 8【貸付金】返済の見込みのない貸付金がある(同族会社)
- 9【会社経営】同族会社があり、株をもっている
- 10【財産確認】財産がどれ位あるか確認できていない
- 【現状課題】他に上記以外の課題があり、不安

②【申告・納税に関すること】

- 1【財産評価】財産の価値が理解できていない
- 2【申告】相続税の申告が必要になる
- 3【申告】前回は相続の申告をしている
- 4【節税】相続税を節税する余地がある
- 5【節税】相続税を節税したい
- 6【納税】相続税が払えるか不安
- 7【納税】納税するための現金はない
- 8【物納、延納】土地を物納、あるいは延納したいと考えている
- 9【売却】土地を売却しないと納税できない
- 10【顧問税理士】相談している税理士がいる
- 【現状課題】他に上記以外の課題があり、不安

③【手続きや専門家に関すること】

- 1【専門家】相続に関して誰に相談していいかわからない
- 2【詳細】手続きを進めている相続人から詳細を教えてもらえない
- 3【専門家】確定申告を依頼している税理士がいる
- 4【不平等】税理士の遺産分割案が偏っている
- 5【不慣れ】税理士が相続にあまり詳しくなさそう
- 6【節税意識】税理士の節税意識が薄い
- 7【名義変更】預金の名義変更が出来ない、口座が凍結されている
- 8【名義変更】不動産の名義変更ができない、いつすればいいかわからない
- 9【測量、分筆】不動産の測量や分筆が必要になる
- 10【弁護士】他の相続人が弁護士に相談(依頼)をしている
- 【現状課題】他に上記以外の課題があり、不安

感情面

④【被相続人、相続人に関すること】

- 1【独身】配偶者も子もいなく、親か兄弟姉妹が相続人
- 2【配偶者】子はいるが、配偶者がいない、あるいはすでに他界
- 3【子がいらない】配偶者がいるが、子はいない
- 4【相続人がいない】配偶者、子、親、兄弟姉妹もいない
- 5【再婚、認知】前妻・前夫の子供や、認知した子供等がいる
- 6【代襲相続人】子供や兄弟姉妹が先に亡くなり、代襲相続人がある
- 7【不仲】家族間ですでに争いを抱えていたり、疎遠・対立している
- 8【援助】援助が必要な相続人がいる(障害、独身、離婚等)
- 9【行方不明、海外在住】相続人に行方不明や海外在住者がいる
- 10【寄与】介護や事業に寄与してくれた相続人がある
- 【現状課題】他に上記以外の課題があり、不安

⑤【遺産分割に関すること】

- 1【主張】遺産分割につき、個々の主張が違う
- 2【寄与】介護や事業に貢献してくれた相続人に多く分けたい
- 3【二次相続】二次相続でも納税が必要
- 4【不動産】動産よりも不動産の評価が高い
- 5【不動産】不動産が分けられない、または分けにくい
- 6【収益不動産】収益不動産があり、分けにくい
- 7【同居】ひとつの不動産に相続人複数同居している
- 8【共有名義】共有名義になっている不動産がある
- 9【代償金】不動産を相続するものが代償金を払うようにしたい
- 10【生前贈与】贈与した財産があるが全員に知らせていない
- 【現状課題】他に上記以外の課題があり、不安

結果

■相続発生後

	内容	チェック数
経済面	①【財産に関すること】	
	②【申告・納税に関すること】	
	③【手続きや専門家に関すること】	
	小計	
感情面	④【被相続人、相続人に関すること】	
	⑤【遺産分割に関すること】	
	小計	
	合計	

☆あなたの現状はどうか、相続の課題を確認します。☆何から始めるか、知ることがスタートです。

経済面

①【財産に関すること】

- 1【不動産が多い】自宅の他にも不動産がある
- 2【借地権】借地上に建物を所有している
- 3【底地】借地人が居住している土地がある
- 4【賃貸経営】賃貸物件を所有している
- 5【預金】他の財産に比べて預金が少ない
- 6【名義預金、保険】自分が契約した家族名義の預金や保険がある
- 7【借入金】返済の見込みのない負債がある
- 8【貸付金】返済の見込みのない貸付金がある(同族会社)
- 9【会社経営】同族会社があり、株をもっている
- 10【財産確認】財産がどれ位あるか確認できていない
- 【現状課題】他に上記以外の課題があり、不安

②【申告・納税に関すること】

- 1【財産評価】財産の価値が理解できていない
- 2【申告】相続税の申告が必要になる
- 3【申告】前回は相続の申告をしている
- 4【節税】相続税を節税する余地がある
- 5【節税】相続税を節税したい
- 6【納税】相続税が払えるか不安
- 7【納税】納税するための現金はない
- 8【物納、延納】土地を物納、あるいは延納したいと考えている
- 9【売却】土地を売却しないと納税できない
- 10【顧問税理士】相談している税理士がいる
- 【現状課題】他に上記以外の課題があり、不安

③【生前対策に関すること】

- 1【生前対策】これといった生前対策はしていない
- 2【不動産の整理】問題を抱えた不動産がある(境界、共有名義等)
- 3【財産継承】事業や後継者に不安がある
- 4【賃貸事業】賃貸事業の見直しが必要
- 5【遺言書】遺言書の作成が必要
- 6【認知症】認知症、意識不明等で意思確認が難しい
- 7【生前贈与】生前贈与をしていない
- 8【土地の有効活用】遊休地がある
- 9【資産の組み替え】資産の組み替えが必要である
- 10【生命保険】まとまった現金が入る生命保険には加入していない
- 【現状課題】他に上記以外の課題があり、不安

感情面

④【被相続人、相続人に関すること】

- 1【独身】配偶者も子もいなく、親か兄弟姉妹が相続人
- 2【配偶者】子はいるが、配偶者がいない、あるいはすでに他界
- 3【子がいらない】配偶者がいるが、子はいない
- 4【相続人がいない】配偶者、子、親、兄弟姉妹もいない
- 5【再婚、認知】前妻・前夫の子供や、認知した子供等がいる
- 6【代襲相続人】子供や兄弟姉妹が先に亡くなり、代襲相続人がある
- 7【不仲】家族間ですでに争いを抱えていたり、疎遠・対立している
- 8【援助】援助が必要な相続人がいる(障害、独身、離婚等)
- 9【行方不明、海外在住】相続人に行方不明や海外在住者がいる
- 10【寄与】介護や事業に寄与してくれた相続人がある
- 【現状課題】他に上記以外の課題があり、不安

⑤【遺産分割に関すること】

- 1【主張】遺産分割につき、個々の主張が違う
- 2【寄与】介護や事業に貢献してくれた相続人に多く分けたい
- 3【二次相続】二次相続でも納税が必要
- 4【不動産】動産よりも不動産の評価が高い
- 5【不動産】不動産が分けられない、または分けにくい
- 6【収益不動産】収益不動産があり、分けにくい
- 7【同居】ひとつの不動産に相続人複数同居している
- 8【共有名義】共有名義になっている不動産がある
- 9【代償金】不動産を相続するものが代償金を払うようにしたい
- 10【生前贈与】贈与した財産があるが全員に知らせていない
- 【現状課題】他に上記以外の課題があり、不安

結果

■生前

	内容	チェック数
経済面	①【財産に関すること】	
	②【申告・納税に関すること】	
	③【生前対策に関すること】	
	小計	
感情面	④【被相続人、相続人に関すること】	
	⑤【遺産分割に関すること】	
	小計	
	合計	